

平成 28 年度第 1 回恵那市国民健康保険運営協議会 議事録

開催日 平成 28 年 5 月 26 日 (木)

時 間 午後 2 時～午後 4 時閉議

場 所 恵那市役所 災害対策室

出席者

1 号委員 丸山 早苗委員 樋田 八重子委員 阪上 美代子委員 山本 さちよ委員

2 号委員 山田 康志委員

3 号委員 坪井 弥栄子委員 三園 了三委員 宮地 政臣委員 丸山 増美委員

4 号委員 鈴木 幸彦委員

事 務 局 可知市長 光岡市民福祉部長 山村保健医療部長

三宅保健推進課長 藤田保険年金課長 安藤上矢作病院事務長

鶴見岩村山岡診療所事務長 平林地域医療課長補佐 早川保健推進課長補佐

丸山保険年金課長補佐 近藤地域医療課係長

平野保険年金課主査 谷口保険年金課主査

欠席者

2 号委員 西脇 巨記委員 林 浩介委員 倉地 正委員

藤田課長

平成 28 年度第 1 回恵那市国民健康保険運営協議会を始めさせていただきます。本日は皆様大変お忙しい中ご出席を賜りありがとうございます。私は本日進行を務めさせていただきます保険年金課の藤田と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、「審議会等の会議に関する指針」に基づき傍聴席が設けてありますのでよろしくお願いいたします。

開会の言葉を光岡市民福祉部長から申し上げます。

光岡部長

皆さんこんにちは。大変お忙しい中、恵那市国民健康保険運営協議会を開催させていただいたところお集まりいただきありがとうございます。

これから第 1 回国民健康保険運営協議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

藤田課長

会議に当たり資料の確認をお願いいたします。あらかじめお送りしました会議次第と

資料1から資料6をお持ちいただいていると思います。追加で、机上にお配りしました資料7と、国民健康保険事業データヘルス計画概要版というクリップ留めのもの、それからA4版1枚の1人当たり医療費給付費、中日新聞のA3版のもの、岐阜国保の冊子、恵那市ピーアール用の移住定住推進事業の案内がございます。

それでは、協議会に先立ちまして市長よりごあいさつ申し上げます。

可知市長あいさつ

皆さんこんにちは。大変お忙しい中、急に暑くなったこの時期です。第1回国民健康保険運営協議会を開催したところ、皆さんご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃は宮地会長さん初め協議会の皆様方には国保の運営についてご理解とご支援をいただきまして誠にありがとうございます。本日は大きな議題として、平成28年度の国民健康保険の保険料率について諮問させていただきますので、これをご検討いただきご答申いただきたく存じます。

国保の事情は、皆さんご案内のように、高齢化により国保の加入率が恵那市の場合世帯で38.2%、人口で24%。恵那市は社会保険などの保険に加入する人が多くて、国保の加入世帯はほかのところより少し少ない状況です。ですが、特に60歳以上で加入されている人が6割を超え、国保も高齢化していますので、そういう方々を中心に国保を運営するということは、どうしても医療費の増加につながるということもありますので、健康寿命日本一を目指した健幸都市宣言をしたことも含めて、健診率の向上なども、これからお話しさせていただきますが、よろしく願いいたします。

保険給付費率が前年対比で2.88%ですからそんなに大きくは膨らんでおりませんが、そんな状況で、できれば恵那市としては料金の値上げをしないようにして据え置きでいきたいという考えを持っていますので、ぜひその辺をご検討いただき、国保財政がしっかり運営できるよう、皆さんでご協議いただければと思います。

また、国保の広域化が、平成30年4月から岐阜県が保険者になって運営することになりますが、内容はまたお話ししますが、個々に、たとえば恵那市はどれだけの給付をしてこれだけのお金が要るからこれだけは恵那市が負担するというやり方で、後期高齢者の医療保険のような形ではなく、県は平均的な保険料を示すけれども、それぞれの市の負担でやるというやり方ですので、これもぜひ皆さんにご理解いただいて、多く使えば当然多く負担がかかるということですので、よろしく願いします。

最後に、少し時間をいただき、恵那市のピーアールをしたいのです。資料を見てください。「『恵那市でずっと暮らしたい』をサポートします」。私はどこへ行っても、何十回と皆さんにお話ししています。なぜこういうのをやったかという、実は恵那市は昨年10月の国勢調査で2630人、4.9%人口が減りました。これは東濃5市で一番率が高い。この2630人は、串原が786人、上矢作が1961人、この2つを合わせると2747人で、まさにこの2つの地域が5年間で無くなったというぐらい急激な人口減少です。市としてはなんとか市が消滅することがないように、そういう取り組みの一つとして、移住定住推進事業としてこうした事業を行っていますので、ぜひ皆さん方から周囲の方にお知らせいただければと思います。

中を開くと、結婚したときに10万円相当の恵那市の特産品をお送りします。新婚でアパートに入られた場合はアパート料金を年1万円助成、これを3年間。一戸建を造りたい人が土地を取得するとき50万円を限度にして助成。親と一緒に生活したい人は、同居したときの改築費、または近居、たとえば大井町なら大井町、長島町なら長島町で新築などされた場合は50万円を限度に補助。というようなことで、一生懸命恵那市に若い者が定住してもらえるように。要件は夫婦足して80歳ですから、約40歳までですね。そういうことで、ぜひ皆さんから、詳しいことは最後のページに書いてあります。こうした制度を活用していただき、恵那市で結婚しここで生活していただきたいということです。

もう一つ、熊本地震で大変な被害がありました。地震で建物での圧死の方がたくさんあります。阪神淡路大震災でもそうでした。その上、中心市街地に行くとその木造の建物に火災が起きたときに大変な災害になります。耐震化率が、平成25年国は82%、恵那市は56%です。推計です。全部がそうではありません。たとえば昭和56年より前の建物は耐震性がないと見なされています。だから耐震の検査をすれば100年経っていても大丈夫なところがあるので、まず耐震検査を無料ですから受けてくださいということを皆さんに申し上げています。特に市街地の場合は、建物が燃えたら助かる人が無くなってしまいます。こういうアピールもさせていただきます。こういうことがあって、今まで多い時でも年間に10件ぐらいしかなかったのが、あれから1カ月ぐらいで16件ぐらい申し込みがありました。やっぱり皆さん心配してみえます。ですからぜひやってください。耐震検査をするときは、建物一つだけでなくその中で何カ所かやりますから、たとえば1階の押し入れの柱や壁がたくさんあるところは一定の耐震はあるとか、そういうことがありますので、そういう場所も知っておくことも大事です。そういう意味でぜひ耐震性のために耐震検査をやっていただくよう皆さんにお願いしてください。

今日はそういうことですので、どうかよろしくお願いします。

藤田課長

続きまして、宮地会長からあいさつをお願いします。

宮地会長〔会長あいさつ〕

こんにちは。大変暑い日になりました。平成28年度第1回運営協議会を開きたいと思います。先ほど市長からお話がありましたように、国保の関係も平成30年には県に移行します。現在の国保の状況を見ましても、医療費は年々増加すると同時に、被保険者の数は減少しているという時期に当たって、慎重に審議しながら結果を出していきたいと思っています。よろしくお願いします。

藤田課長

今回、欠席の知らせを、2号委員 西脇巨記委員、林浩介委員、倉地正委員からいただいております。

なお、本日の協議会に13名中10名のご出席をいただいておりますので、恵那市国

民健康保険条例施行規則第3条の規定に基づき、定員の過半数以上の出席に達し、本会は成立していることを報告させていただきます。本年は委員の改選はございませんのでこのまま議事に入らせていただきます。よろしく申し上げます。会長、議事の進行をお願いします。

宮地会長

それでは会議に先立ち議事録署名者を指名します。1号委員の丸山委員と2号委員の山田委員をお願いします。

それでは諮問をお願いします。

〔市長より宮地会長に諮問の提出〕

市長

平成28年度恵那市国民健康保険の保険料率について、恵那市運営協議会の意見を伺います。宜しくお願い致します。

宮地会長

それでは、今、市長から諮問を受けました。この写しは皆さんに配ります。これを見ていただかないといけませんので、事務局が印刷します。会議を進めます。

議第1号「平成28年度恵那市国民健康保険料の料率について」を議題とします。資料1です。事務局の説明をお願いします。

藤田課長・丸山課長補佐

(議第1号 平成28年度恵那市国民健康保険料の保険料率について 説明)

宮地会長

事務局の説明が終わりました。議第1号「平成27年度恵那市国民健康保険料の料率について」のご質疑はありませんか。同時に、先ほど市長から諮問のあった内容も細かくなっていると思います。

藤田課長

補足です。介護保険料率のところの所得割の部分を減額したいと思っております。諮問の内容の(3)介護納付金分の保険料率、所得割100分の1.98です。2.05から1.98です。

宮地会長

この諮問の資料を参考にすれば保険料率は6月に改正されるということですか。

藤田課長

そういうことです。

宮地会長

何かございませんか。

三園委員

基金の繰り入れをするという計画ですけど、先ほど市長が言われた平成30年に県に移管するということを見込んで、基金を今年繰り入れしていくと、30年度に恵那市の基金がどういう状態で、30年度に対応できるのかどうか、その辺がある意味キーポイントのような気がします。本当に基金を繰り入れていいのか。

宮地会長

基金は7800万円だけだね。4億5千万ぐらいある中の7800万を28年度に入れるという。三園委員の質問について何かお答えがあれば。

藤田課長

後ほど資料2で決算見込みをご説明しますが、見込み額として繰越額が2億円ほどあります。償還金と国庫に返す分を差し引いても何とか基金を取り崩す金額が最小限に抑えられると見込んでおります。

藤田課長

県統一化に向けて納付金という制度になりますので、足りなくなった場合、基金が今4億5千万で、3カ月分の医療費を持つという、9億6千万基金を持っているといいと国も示していますが、最悪の場合、一般会計からの借り入れ等で何とか乗り切っていくと踏んでおりますし、激変緩和ということで、30年から35年まで安定基金というものを国も設置して利用できるようにと考えています。

宮地会長

先ほど市長から冒頭に話があった、30年に県にいても恵那市の分はこれだけくださいというシステムですから、従前と変わらない状況で県へ移行しただけで、国保の健全財政を維持しようと思うとある程度の基金を持っていないと一律全部使うとなると高い税率になる可能性があります。今までの基金を持ちながら健全財政を堅持することが県に移行するにも円滑な事業展開になるだろうと思います。

樋田委員、どうですか。何かご質問があれば。

樋田委員

特にありません。

宮地会長

阪上委員。

阪上委員

前から、県に行くとき基金まで一緒に持っていかれると。やっぱり基金はある程度、何かがあったときのために残しておかないといけないと思うので、ある程度保険料を上げても基金は残しておいた方がいいと思います。

宮地会長

山本委員。

山本委員

何億とか、家庭の主婦には考えられない金額が出ているわけですが、やっぱり基金は当てにしたいけれど、その前に自分たちの健康、病院にかからないよう、保険を使わないように、一人一人が意識を持って、自分の健康は自分で守るような意識付け、「何でもいいわ、病院に行けば」という前に、未病、自分の健康を考えるべきだと思いました。

宮地会長

山田委員。

山田委員

正直、難しくて。確かに、30年というあと2年で、そのペースだと基金が限りなくゼロに近くなる感じなのですが、それがいいのかわからないので。皆さんの意見に合わせようと思っています。

宮地会長

坪井委員。

坪井委員

私も、阪上さんと同じで、7千万円であと5、6年しかないのですが、ゼロのところもあるので何とも言えないのですが、やはりこれから高齢者が多くなって保険料がどうなるかということもありますけど、基金というのはいざというときに困るのではないかなと。国民健康保険は守られているので少しぐらい上がってもそんなに市民の中に影響がないような気がしますけど、いざというときにない方が心配です。やはり、毎年少しずつでも上げていくべきじゃないかなと、変更なしというのは有り難いですが、それが理想だと思います。

宮地会長

丸山委員。

丸山委員

基金をなくしちゃうと、ということもありますけど、基金で何とか乗り越えていけるということになれば消費税率も国でも言っているけど引き延ばすということなのでなるべく負担がかからない形でできたらいいと思う。

宮地会長

鈴木委員。

鈴木委員

緊急時のインフルエンザや緊急の病気が発生したとき大量にお金がかかるということで、協会けんぽが以前すごく上がったときに、インフルエンザの影響がすごく大きかった。リーマンショックの問題もありますけど。そのために大量に保険料が上がった、財政基金を取り崩したということがあり問題になっていました。28年度は少し料率が協会けんぽは下がったのです。それはもちろんいいことなのですが、確かに基金を取り崩してしまうと、そういう急な病気が発生したとき大量のお金がかかりますので、ある程度財政は残された方がよろしいかとは思いますが。ただ、現在、私は立場が少し違うのではっきり言えませんが、各市町村によって基金の考え方が違います。ということを知っています。使ってしまうという市町村と残した方がいいという市町村があると聞いています。どちらがいいかということはなかなか判断が難しいと思います。

なので、私からは、基金を崩した方がいいのか貯めた方がいいのかは発言を控えさせていただきますが、緊急のインフルエンザ等が発症した時にはお金が大量にかかる、あと、制度としても、国民健康保険では適用基準が変わってないと思いますが、健康保険では一部変わります。基準が変わるということは、被保険者の人数が変動になるというのは、どこから変動になるのかが分からないです。秋からパートの適用基準が変わりますので。そのときに、その人数はどこから来るかはまだ明確に分からないです。協会けんぽと健康保険組合の方にどれだけ人数が増えるのか、現状と変わらないのかが明確に分からないのです。そのときに国民健康保険の方から移ってくるのか、扶養家族の方から移ってくるのかというのが分からないので、今何とも言えませんが、そのときもし国民健康保険や被保険者数が減ったときにどうするのか。扶養家族は保険料がほとんどかかっていませんので、協会けんぽなら健康保険組合の被保険者の扶養家族が減るだけなのでそれはちょっと違いますけど、国民健康保険に影響が出るのか出ないのかははっきり分からないというもう一つの問題が隠れています。

ですから、あまりここで、基金を取り崩したときに、緊急のお金がかかったときにどうするかという問題はありますが、各市町村の考え方が違うので、取り崩していい方向に行った方がいいのか、蓄えをたくさん作った方がいいのか、即答はできないと思います。ですが、あまりその保険料が上がるのも、やはり皆様の家庭にすごく負担がかかるのは間違いないので、そこは市長や市役所で考えた上でこういう形を取っておられると思いますので。そこはそれなりに考えた上で判断しないと難しいのではないかと思います。

宮地会長

そのほか何か。

市長

恵那市も平成 20 年前までは基金は絶対崩してはいけないと堅持していたのですが、大変景気が低迷したときがあって、毎年保険料を上げていくという計画を作っていくのは厳しいということがあったので、今までの実績から見ると、基金がそれだけずっと必要でなかったということもあったので、ずいぶん議論していただいて基金を取り崩すことについて判断をしました。今 2 億 5 千万円ほどありますから約半分はあります。今までの実績から見れば、これ以上崩してもいけないけどその程度あればという判断を我々は持ってきました。鈴木委員がおっしゃったように、各市まちまちです。ゼロのところもあります。どんどん積み上げていくところもあります。だから、今度統一されたときにその辺の指針も出てくると思いますので、それに合わせて検討するという事にさせていただきます。

宮地会長

基金はある程度まだ残っています。だから、市民に対しての医療費についての若干維持しながら繰り入れをしてやるということによろしいですか。

[「異議なし」の声あり]

宮地会長

それなら、別室でお話をしたいので、暫時休憩します。別室で答申内容等についてのご相談を申し上げます。

[休 憩]

(暫時休憩後)

宮地会長

会議を再開します。休憩中に皆様方のご意見を求めましたところ、慎重に審議し、全員一致をもってご了解いただけましたので、ただいまから市長に答申します。

恵那市長 可知義明様、恵那市国民健康保険運営協議会長 宮地政臣、平成 28 年度恵那市国民健康保険の保険料率について答申 平成 28 年 5 月 26 日付けで諮問のあった平成 28 年度恵那市国民健康保険の保険料率について下記により答申します。一つ、平成 28 年度国民健康保険の保険料率は(1)医療給付分の保険料率、(2)後期高齢者支援金分の保険料率、(3)介護納付金分の保険料率、諮問どおり答申しますのでよろしくお願ひします。

市長

ありがとうございました。しっかり国民健康保険財政をお守りして市民の皆さんの安全安心を守っていきたいと思います。ありがとうございました。

それでは私はこれで失礼します。

宮地会長

続きまして、報第1号「平成27年度恵那市国民健康保険事業特別会計事業状況並びに平成28年度予算について」資料2について説明をお願いします。

藤田課長

(報第1号 平成27年度恵那市国民健康保険事業特別会計事業状況並びに平成28年度予算について 説明)

宮地会長

資料2についてご質問はありますか。

宮地会長

質問が無いようですので、報第1号「平成27年度恵那市国民健康保険事業特別会計事業状況並びに平成28年度予算について」を終わります。

続きまして、報第2号「平成27年度恵那市国保上矢作病院事業状況並びに平成28年度予算概要について」を議題と致します。資料3について事務局の説明をお願いします。

安藤上矢作病院事務長

(報第2号 平成27年度恵那市国保上矢作病院事業状況並びに平成28年度予算概要について 説明)

宮地会長

この件についてご質問はありませんか。

委員

直接関係ないのですが、今回の熊本地震でも病院が診療できない状況が見受けられます。上矢作病院も大変古くなっています。耐震基準に合致しているのか、どうですか。

安藤上矢作病院事務長

上矢作病院は昨年40周年を迎え、記念行事をしました。耐震機能は、平成18年に一部耐震工事をしました。調査の内容は、全体をカバーするのではなくて、大きなポイントポイントで工事をして、壁を強化しました。全体に倒れるということではありませんが、上矢作病院に来られれば分かると思いますが、A棟B棟という2つの病棟があり、

本当に崩れるときにはその病棟が重なるという状況を見て強化しました。両サイドの強化、玄関と裏の強化と真ん中の一部の強化で、崩れないようにしました。今のところは耐震基準をクリアしています。コンクリートの耐用年数が50年ですので、もう40年経過したということで、心配な部分ではありますが今のところクリアしています。

宮地会長

そのほかございませんか。

意見は無いようですので、報第3号「平成27年度恵那市国保上矢作病院事業状況並びに平成28年度予算概要について」を終わりとします。

続きまして、報第3号「平成27年度恵那市国民健康保険診療所事業状況並びに平成28年度予算概要について」を議題とします。資料4について事務局の説明をお願いします。

地域医療課 近藤

(報第3号 平成27年度恵那市国民健康保険診療所事業状況並びに平成28年度予算概要について 説明)

宮地会長

この件についてご意見ご質問はありませんか。

宮地会長

意見は無いようですので、報第3号「平成27年度恵那市国民健康保険診療所事業状況並びに平成28年度予算概要について」を終わります。

続きまして、報第4号「恵那市国民健康保険の一部改正について」を議題とします。資料5について事務局の説明をお願いします。

藤田課長

(報第4号 恵那市国民健康保険の一部改正について 説明)

宮地会長

この件についてご意見ご質問はありませんか。

宮地会長

意見は無いようですので、報第4号「恵那市国民健康保険の一部改正について」を終わります。続きまして、その他の「特定健康診査について」資料6の事務局の説明をお願いします。

三宅保健推進課

(特定健康診査について説明)

宮地会長

何かご質問はございますか。

宮地会長

意見は無いようですので、その他の「特定健康診査について」を終わります。続きまして、その他の「国民健康保険の見直しについて」資料7の事務局の説明をお願いします。

藤田課長

(国民健康保険の見直しについて説明)

宮地会長

何かご質問はございますか。

藤田課長

新聞の5月18日の記事をコピーしておきました。高額な医療がだんだん出てきます。医療費の高騰化というので、悩んでいる患者さんにとっては朗報ですが、保険者もこういうものを見据えながら進めていかなければならない。C型肝炎も1錠4万円から6万円の薬を120日間投与で完治するというような、朗報ではございますが、保険者にとっては、1人、2人、3人と発生するごとに医療費もかさむということで、特定健診をぜひ皆さんに受けていただくように周知してまいりたいと思っております。協力をお願いします。

宮地会長

それでは2時間に及びましたが、これで本協議会に提出されました議題はすべて終わりました。慎重審議ありがとうございました。医療管理部長から閉会の言葉をお願いします。

山村医療管理部長

これにて第1回恵那市国民健康保険運営協議会を終了します。ご苦労さまでした。

[閉 会]